

..... 編集後記

◆ 新年おめでとうございます。2000年という区切りの良い年が明けました。ノストラダムスも、ハルマゲドンも、Y2K問題も関係なかったようですね。

◆ 松浦さん他による記事に書かれていますが、昨年は7月のパプアニューギニアの地震から始まって、11月のトルコの地震まで、立続けに大きな地震が発生しました。それを反映して、地質ニュースの誌面も、このところしばしば地震特集の様相を呈しています。今月号も、8月と11月のトルコ地震、9月の台湾地震の記事、合計3篇を掲載させていただきました。人的被害の出た地質災害のニュースは大変痛ましいことですが、「地質ニュース」の名前のとおり、地質に関係する最新のニュースをお送りするつもりでおります。写真入りの原稿を是非お寄せ下さい。

◆ 今月号から、ブライアン・メスンによる伝記「現代地球化学の父：ゴールドシュミット」を連載します。翻訳版の執筆は北京在住の河内洋佑さんです。河内さんは、1974年に地質調査所からニュージーランドのオタゴ大学に移られ、その後1997年から北京の中国鉱物資源探査研究センターに勤務されておられます。日本におられたときは、赤石山地や四国地方の三波川変成岩類を中心に研究しておられました。また、「地質学のための英語」「地学英語文例辞典」等の書籍でお名前をご存知の方も多いことと思います。

◆ 昨年夏、地質調査所では房総半島を舞台にサイエンスキャンプを実施しました。10人の高校生を引き連れ、準備、案内、フィールドの指導から夕食の調理まで、その先頭に立って活躍された資源エネルギー地質部の徳橋さんが、キャンプの詳細な報告を書いて下さいました。地学離れしている高校生に、何とか地学の面白さ、楽しさを伝えたいという徳橋さんの気迫を感じていただけましたでしょうか。

◆ 最近地質調査所から発行された20万分の1地質図幅はもうご覧になられましたか。今年度発行の図幅から、地質図の裏面に解説や英文要旨などが印刷されております。本号では、新作地質図として金沢図幅(鹿野ほか)、村上図幅(土谷ほか)の見どころ、概要などを紹介しました。ご興味をお持ちいただけましたら、是非ご購入下さい。

◆ 昨冬からと思います。わが家の裏のフキノトウが、11月下旬から12月始め頃に顔を出すようになりました。以前は1月末から2月頃、刻んでみそ汁や湯豆腐にのせたりしたとき、「ああ春だなあ」と思ったものでした。今年はあわただしく年末年始を過ごしたため、すっかりフキノトウのことを忘れていたところ、年が明けて思いだしてさがしたら、すでに蕾が開いた状態になっていました。これも暖冬のせいなのでしょうが? でも11月に顔を出すというのは、冬を経ないでということですので、何か変ですね。

(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・石塚 治・木下泰正・
中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(河村幸男・渡辺光次)

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3
地質調査所 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-61-3520

Fax. 0298-61-3569

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第545号	2000年	1月号
	定価¥785(本体価格¥748) 千実費		
2000年1月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03)3265-0951(代表)		
	Fax. (03)3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2000 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。